

事業番号	09 03 02	事業改善シート(28年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	種子対策事業		担当課	部局 農政部 課・局・室 農業技術課 E-mail nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画	プロジェクト	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産	実施期間	S53 ~
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		
	施策展開	3-(1)経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業競争力強化		

1 事業の概要

目指す姿	主要農作物(水稻、麦類、大豆及びそば)について、品質の高い種子を安定的に生産供給することにより、多様なニーズに応えられる農業生産を促進するとともに、競争力の高い農業生産を実施する。				
現状(予算編成時)	○平成25年産の種子の供給は、需要量の1,451トンに対して100%の数量を確保している。 ○県内の主要作物の生産においては、水稻の主力品種である「コシヒカリ」のほか、水稻の「ゆめしなの」、「風さやか」、麦の「ハナマンテン」など県のオリジナル品種を含めて市場ニーズに対応した作物の作付けが必要となっており、それらの種子を安定的に生産供給する体制の維持が必要となっている。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 県民との協働による実施: 実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 都道府県は、主要農作物の原種・原原種を生産するとともに、優良な種子を選定するための対策を講じる必要があるとされている。(主要農作物種子法)			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○水稻、麦などの主要農作物種子の供給量 需要量対比100%: 当年度に生産する種子及び備蓄している種子により、県内全ての需要に対応できる供給体制を維持する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績		H29
			(当初)	(決算)	(当初)
奨励品種決定調査ほの委託	委託	・奨励品種決定調査ほの農家への委託		660 660 658	
原種センター補助	補助	・原種センターが行う種子備蓄並びに種子需給調整及び種子生産指導		11,175 10,645 11,210	
奨励品種決定調査、原原種の採種	直接	・試験場における奨励品種決定調査、原原種の採種の実施		1,615 619 1,551	
		合計		13,450 11,924 13,419	
事業コスト	成果目標の達成状況				
	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	
	前年度繰越				
	当初予算	14,257	13,450	13,419	
	補正予算				
	合計(A)	14,257	13,450	13,419	
	一般財源	14,257	13,450	13,419	
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	
決算額(B)	13,723	11,924			
概算人件費	職員数(人)	1.30	1.30	1.30	
概算人件費(C)	10,759	10,288	10,288		
概算事業費(B(A)+C)	24,482	10,735	23,707		
項目	H26末	H27末	H28		H29
			目標	成果	達成状況
主要農作物種子供給量需要量対比	100%	100%	100%	100%	達成 100%

目標に対する成果の状況	長野県及び長野県原種センターを主体とする原原種、原種、種子の生産・供給及び備蓄体制により、県内で使用する主要農作物等の種子について、全ての需要量を確保している。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	主要農作物の原原種ほ、原種ほの設置及び奨励品種の決定調査を行うとともに、種子を生産・供給する原種センターへの補助を行い、引き続き、主要農作物の生産の基本となる優良種子を安定的に生産・供給するための支援を行う。